

北海道社会学会ニュース

H.S.A.NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル

北海道NPOサポートセンター気付

FAX: 011-261-6524 E-mail: socio@npo-hokkaido.org 担当 金城

郵便振替口座 02760-3-3085 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/hsa>

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION

c/o Hokkaido NPO Support Center,

Kuwagata Bldg., Minami 2 Nishi 10, Chuo-ku, Sapporo, 060-0062 JAPAN

Newsletter Editor: HIRASAWA Kazushi

編集責任者：平沢和司（庶務理事） 北海道大学大学院文学研究科 hirasawa@cme.hokudai.ac.jp

〒060-0810 札幌市北区北10条西7丁目 TEL 011-706-3322（直通） FAX 011-706-4801（事務室）

第56回北海道社会学会大会について

第56回北海道社会学会大会は、6月22日（日）、旭川医科大学（旭川市）において開催されました。今回は1日開催がはじめて試行されました。大会運営に際しては、松岡悦子会員をはじめ開催校のスタッフ・学生の方々に多大なるご協力をいただきました。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

今回の大会では、自由報告8本、およびシンポジウム「医療は過剰であろうかー健康・医療と現代社会」において、活発な討論が行われました。大会参加者数は学会員38名、非会員4名でした。大会当日の夕方には、同大近くのイタリアン・レストラン「ハートランド」で懇親会が開催され、大会参加者同士の親睦が深められました。

第56回北海道社会学会総会について（第56回北海道社会学会総会議事抄録）

日時：2008年6月22日（日）16:00～16:30

会場：旭川医科大学教室第7講義室

議長：酒井恵真会員

報告

1. 庶務報告（平沢庶務担当理事）

1-1. 会員数異動（2007年6月～2008年6月）

新入会員数：5名

退会会員数：本人申告退会4名+自然退会7名=11名

現在の会員数：一般134名+学生31名=165名（前年度より6名減）

1-2. 理事会開催：2007年11月、2008年2月、6月の計3回、およびメールによる持ち回りで随時開催した。

1-3. ニュースの発行：No.72～75の4号を発行した。

1-4. 学会研究奨励金：3回の募集に対していずれも応募者がなかった。今年度あらたに募集する。

募者がなかった。今年度あらたに募集する。

1-5. 他機関からの依頼への対応：社会学系コンソーシアムを通じて照会のあった電子アーカイヴ対象候補誌へ応募し、推薦された。

2. 研究活動委員会報告（櫻井研究活動委員長）

今回大会のシンポジウム開催を企画・運営した。今回試行した1日開催に関して意見がある会員は委員へ伝えてほしい旨の依頼があった。

3. 編集委員会報告（内田編集委員長）

『現代社会学研究』第21巻を編集・発行した。

4. 次回（第57回）大会開催校について

札幌学院大学に決まり、同校の小内純子会員から挨拶があった。研究活動委員会を中心に、次回理事会（11月開催予定）までに日時を決定する旨が庶務理事から付言された。

議題

1. 2007年度決算報告（大國会計担当理事が説明、監事のうち原会員が補足説明、松田会員は欠席のため大國理事が監査結果を代読）

提案（後掲）のとおり承認された。

2. 2008年度予算案（大國会計担当理事）

提案（後掲）のとおり承認された。

第3回理事会報告

日時：2008年6月22日（日）12:30～13:20

会場：旭川医科大学看護学科棟大会議室

出席者：笹谷会長、小内透副会長、内田・大國・小内純子・加藤・櫻井・平沢の各理事

報告

上記の総会における報告と同じ。

議題

上記の総会における議題のほかは以下の通り。

1. 学会活動費の支出について（平沢庶務担当理事）

今大会のシンポジウムで発表された佐藤純一高知大学教授に対して、規定通りの大会講演料のほか、旅費のほぼ全額を学会活動費から支出することが決定された。

2.大会一般報告・機関誌投稿者の会費完納確認の徹底について（平沢庶務担当理事）

従来より行っているが、新入会員を含めて確認を徹底することが申し合わされた。

現役員の役割分担（再掲）

学会年度が変わりましたので、現役員の役割分担を再掲しておきます。連絡等にご活用ください。

会長：笹谷春美

副会長：小内透

研究活動委員会：櫻井義秀（委員長）・加藤喜久子・

飯田俊郎*・片桐資津子*

編集委員会：内田司（委員長）・小内純子・樽本英

樹・宝福則子*・西浦功*

会計担当理事：大國彦彦

庶務担当理事：平沢和司

監事：原俊彦*・松田光一*

（敬称略、*は理事外、現役員・委員の任期は2年間で、2009年大会終了日まで）

第56回大会シンポジウム「医療は過剰であろうかー健康・医療と現代社会」について

櫻井 義秀

本年のテーマ「医療は過剰であろうかー健康・医療と現代社会」は、松岡悦子氏（旭川医科大学）のコーディネートで進められた。佐藤純一氏（高知大学）の発表は、現代医療がリスク管理の方向で予防含めて過剰に領域を拡大し、その結果として市民の側の医療への要求水準も上昇し、結果的に限られた医療資源の配分をめぐって市民の充足されない需要の問題が医療の不足として認識されるという大きな見取り図が描かれた。続いて、林美枝子氏（札幌国際大学）が提示された「補完・代替される医療の現在」という問題は、制度化された西欧医学の範疇に収まらない代替医療の日常化と可能性を指摘したものである。但し、代替医療の範囲が極めて広く取られているために、医療サービスとして受け取っているつもり的一般市民が不利益を被る可能性のある疑似科学的・医療類似行為も含まれる。そうした問題も含めて、コメンテーターの井上芳保氏（札幌学院大学）からは、医療の過剰と医療の不足という一見すると矛盾した現象が医療をめぐる言説行為として描かれるいくつかの論点が指摘された。

今回のシンポジウムは医療人類学的な問題の腑分けといった趣があり、通常科学化された社会学的発

想になじみ、限定的な問題解決を目指す社会学会員には納得いかない面もあったが、発想の幅を広げるという点では極めて興味深い内容ではなかったかと思われる。最後まで、どこに話が落ちるのか分からないというのはスリリングである。

2時間の発表、討議は余韻を残すという点ではちょうどいい時間ではなかったか。なお、今後ともシンポジウムを開催する場合は、テーマにつき論者、コメンテーターを絞り、フロアから質問を受け取り応答によりさらに内容を明確化するような構成・やりとりが望まれる。

来年発行の『現代社会学研究』について

①投稿原稿募集

『現代社会学研究』第22巻（2009年6月刊行予定）に投稿を希望される方は、学会ホームページから「投稿申込書（Word版）」をダウンロードし、記入のうえ学会事務局（socio@npo-hokkaido.org）へ8月31日（日）（必着）までにメールの添付書類で送信してください。その際のファイル名は「投稿申込〇〇.doc」（〇〇は申込者の氏名）としてください。数日のうちに申込書受領のメールが事務局から返信されますので確認してください。申込の時点で2008年度までの会費を完納していないと申込は受理されません。ご注意ください。

原稿の提出期限は10月31日（金）（厳守）です。その他の詳細は同誌巻末に記載されている「編集・投稿規定」および「執筆要項」を熟読してください。枚数の超過などがあると専門委員による査読に入る前に掲載不可となることがあります。

なお、西日本社会学会との交流協定（詳細はニューズレターNo.64参照）に基づき、本学会員は西日本社会学会の機関誌へ投稿することが可能です。詳細は同学会のホームページを参照してください（<http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/~sociowest/index.html>）。

②書評対象図書募集

『現代社会学研究』第22巻の書評対象として推薦する図書がある方は、自薦他薦を問わず、9月1日（月）までに図書現物を事務局あてにその旨のメモとともにお送りください。

③広告募集

『現代社会学研究』第22巻に広告の掲載を希望する会員は、2009年1月末ころまでにその旨を内田編集委員長あてにメールでお申し込みください。その後、完全版下を提出していただき、内容に関して編集委員会で検討いたします。広告は半ページあたり5,000円で、巻末に掲載の予定です。

北海道社会学会研究奨励金について

北海道社会学会では社会学研究の活性化と若手の育成を目的として、一昨年度より研究奨励金を交付しています。ついては下記により今年度も奨励研究を募集いたします。ぜひご応募ください。

- 1.募集件数：2件（1件5万円）
- 2.応募資格：本会会員（若手単独が望ましい。若手とは、自分で科学研究費申請ができない地位にある大学院生や大学院修了者等を指す）
- 3.条件：奨励金交付後2年以内の本学会大会での研究発表、および2年以内の『現代社会学研究』への投稿を条件とします。
- 4.応募方法：まず本学会ホームページから「研究奨励金申請書」（Word版）をダウンロードしてください。ついで申請書にしたがって下記を記入し、庶務理事まで郵送により提出してください。メールの添付書類では受け付けません。
 - ①研究テーマ、②応募者（氏名・所属）〒・住所・TEL・FAX・e-mail アドレス、③研究の目的と「社会学研究」としての意味・位置づけ等（具体的に）、④研究の方法と予想される成果（具体的に）、⑤指導教員の署名と印

- 5.応募用紙の提出期限：2008年10月31日（金）必着
- 6.提出先・問い合わせ先：平沢和司（庶務理事、あて先は1ページ参照）

会員異動（2008年6～7月）

《退会》
（ホームページ公開版では省略）

会費の納入について

2008年度（以前）の会費が未納の方には、郵便振替用紙〔郵便振替口座 02760-3-3085〕が同封されています。すみやかに振り込みください。年会費は一般会員6,000円、学生・院生会員4,000円です。2008年度までの会費を完納された会員にのみ『現代社会学研究』第21巻（本年6月発行）を大会時にお渡し、あるいはこのニュースに同封しております。未納の会員には、会費の完納が確認され次第、郵送いたします。5年間滞納されると、自然退会の扱いとさせていただきます。

第56回大会会計報告・2007年度決算・2008年度予算案 （ホームページ公開版では省略）